

# CX Cloud Release Notes 2022年10月

## 内容

### [概要](#)

### [最新情報](#)

[最新バージョンのCX Cloud Agentが利用可能](#)

[非コントローラ製品ファミリを含むように更新されたサポート対象製品リスト](#)

[キャンパス資産のダイレクトデバイステレメトリ収集](#)

[CX Cloud Agentへのデバイスの接続](#)

[インベントリスキャンの編集](#)

[診断スキャンの管理](#)

[データソースページでの非コントローラデバイスの表示](#)

[ソフトウェアの提案と詳細の表示](#)

[非コントローラデバイスのデバイスのクラッシュとリスクの表示](#)

[Syslogの有効化](#)

[Cisco DNAスペースの新しいブランディング](#)

[資産およびケースのナビゲーションの強化](#)

[インベントリ収集スキャンの実行](#)

[解消された不具合](#)

[既知の障害](#)

## 概要

Customer Experience ( CX ) Cloud はあらゆるアーキテクチャにまたがって、新しいテクノロジーのオンボーディング、最適化、導入の全工程にわたりお客様の成功を実現する SaaS ソリューションです。Cisco Success Tracks サブスクリプションをお持ちのお客様は、以下の機能にアクセスできます。

- ・ **コンテキスト学習**: Collaborative Intelligence Platformのウィンドウが開き、「Ask the Expert (ATX)」ウェビナー、「Success Tips」、アクセラレータのエンゲージメント、トレーニングを通じて、ネットワークエンジニアおよびアーキテクト向けの最新リソースが表示されます。
- ・ **信頼できるサポート**：迅速な技術的な問題の解決を支援し、ソフトウェアおよびソリューションレベルで予防的かつ規範的なサービスオプションを利用できます。
- ・ **Insights & Analytics**：予防的かつ予測的な洞察を提供し、お客様が潜在的な問題を認識し、運用を最適化し、テクノロジーの導入と移行を加速するのに役立つデジタルインテリジェンスツールです。
- ・ **エキスパートリソース**：利用可能なすべてのアーキテクチャとシスコ製品をワンストップで利用できます。詳細な設計と検証、および業界固有のソリューションに関する戦略的なエキスパートアドバイスを利用できます。

このドキュメントでは、CX Cloud(UCCX)の新機能と既知の問題について説明します。

この[リンク](#)を使用してCX Cloudにアクセスし、CCOクレデンシャルでログインします。

## 最新情報

リリースノート：このセクション 利用可能な詳細機能 ~の一部として ページ 2022年10月 release.

## 最新バージョンのCX Cloud Agentが利用可能

CX Cloud Agent v2.2が利用可能になり、お客様は非コントローラデバイスをCX Cloud Agentに追加できます。最新リリースをアップグレードまたはインストールするには、ソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。CX Cloud AgentおよびCX Cloud Portalが更新され、Cisco DNA Centerに接続されているデバイスと同様に、直接接続されたCampus対象デバイスに関する収集およびテレメトリの洞察が提供されるようになりました。CX Cloud Agentは、Cisco DNA Centerに接続できない従来のキャンパスデバイスや、Cisco DNA Centerに接続していないCisco DNA Centerに接続できるキャンパスデバイスから、テレメトリに関する洞察を収集します。次のリリースノートでは、CX Cloud Agent v2.2の主な機能について詳しく説明します。

注：このドキュメントでは、「非コントローラ」という用語は、CX Cloud Agentが収集するその他の資産を指します。

### 非コントローラ製品ファミリを含むように更新されたサポート対象製品リスト

サポート対象製品リストが更新され、次のCX Cloud Agentサポート対象製品ファミリが追加されました。

- Cisco 1000 シリーズ サービス統合型ルータ
- Cisco 1900 シリーズ サービス統合型ルータ
- Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ
- Cisco 800 シリーズ ルータ
- Cisco 900 シリーズ サービス統合型ルータ
- Cisco ASR 1000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ
- Cisco Catalyst 1000 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst デジタル ビルディング シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst IE3200高耐久性シリーズ
- Cisco Catalyst IE3400高耐久性シリーズ
- Cisco Catalyst マイクロスイッチ
- Cisco Industrial Ethernet 3010 シリーズ スイッチ

CX Cloud Agentは、Cisco DNA Center製品ファミリもサポートしています。

### キャンパス資産のダイレクトデバイステレメトリ収集

CX CloudのCampus Success Trackをご利用のお客様は、CX Cloud Agentを通じて直接デバイスを収集し、デバイスに関するテレメトリの洞察を確認できます。

## CX Cloud Agentへのデバイスの接続

CX Cloudが更新され、ユーザはキャンパスネットワークデバイスをCX Cloud Agentに接続する方法が2つになりました。

- シード ファイル

- IP の範囲

シードファイル(.csv)オプションを使用すると、最大10,000台のデバイスを簡単に追加できます。シードファイルを使用するには、テンプレートをダウンロードして必要な情報を入力し、CX Cloudにアップロードします。

IP範囲を使用すると、CX Cloud Agentは互換性のある特定のデバイスのセットからテレメトリデータを検出および収集できます。ユーザは、特定のIP範囲を指定するか、ワイルドカードを使用してIPアドレスの一部を置き換えて範囲を作成することで、デバイスを追加できます。たとえば、172.16.\*.\*では、172.16.0.0/16サブネット内のすべてのデバイスでクレデンシャルを使用できます。

## インベントリスキャンの編集

CX Cloudが更新され、管理者は非コントローラデバイスのインベントリスキャンを編集できるようになりました([Data Collection] > [Admin Settings])。これにより、ビジネスニーズに基づいてスケジュールを調整できます。管理者が追加したコントローラ以外のデバイスは、[Data Collection] ウィンドウに表示されます。

## 診断スキャンの管理

CX Cloudが更新され、管理者は新しい診断スキャンをスケジュールしたり、非コントローラデバイスの既存の診断スキャンを編集して、デバイスに影響を与える可能性のある問題を特定できるようになりました。さらに、[Scheduled Scan] の詳細ページにある[Cisco DNA Center] ドロップダウンリストの名前が[Data Sources] に変更されました。

## データソースページでの非コントローラデバイスの表示

CX Cloudが更新され、[Data Sources] ページにコントローラ以外のデバイスが個別に表示されるようになり、管理者はコントローラ以外のデバイスが到達可能か到達不能かを確認できるようになりました。

## ソフトウェアの提案と詳細の表示

CX Cloudのお客様は、コントローラ以外のデバイスを表示して、以前は使用できなかった製品ファミリにアクセスできます。さらに、CX Cloudの[Insights] タイルの[Software Groups] タブが更新され、次の変更が加えられました。

- コントローラおよびコントローラ以外のマネージャの名前を表示する新しいビジュアルフィルタ**Managed By**が追加されました。名前の上にマウスのカーソルを合わせると、管理対象の資産の割合が表示されます。

- [Software Group] テーブルの[Source] 列の名前が[Managed By] に変更されました。

- Cisco DNA Centerは、すべてのコントローラ管理対象デバイスの[Managed By] 列に表示され、すべての非コントローラ管理対象デバイスの[CX Cloud Agent]が表示されます。

## 非コントローラデバイスのデバイスのクラッシュとリスクの表示

CX CloudのCrashed AssetsおよびCrash Riskページが更新され、デバイスのクラッシュや他のアセットのクラッシュリスクを表示できるようになりました。これにより、非コントローラのデバイスの状態を把握できます。さらに、両方のページのCrashed AssetsテーブルとCrash Riskテーブルで、Source列の名前がManaged Byに変更されました。

## Syslogの有効化

CX Cloud Insightsのユーザーは、Syslogと障害をCX Cloud Agentに転送するように非コントローラデバイスを構成できるようになりました。これにより、ユーザーは障害メッセージを表示し、ケース作成を有効にし、非コントローラデバイスの電子メール通知を有効にすることができます。

## Cisco DNAスペースの新しいブランディング

CX Cloud Platform Suiteの下のCisco DNA Spacesには新しいアイコンが追加され、現在はCisco Spacesと呼ばれています。

## 資産およびケースのナビゲーションの強化

CX Cloudが更新され、ユーザーは[Cases] タブ> [Case ID] をクリックして、[Assets] 詳細ページから[Cases] 詳細ページに直接移動できるようになりました。[Cases] 詳細ページで資産IDをクリックして、[Assets] 詳細ページに戻ることもできます。

## インベントリ収集スキャンの実行

10月のリリースでは、法規制に準拠するためのインベントリ収集データの場所が変更されたため、[Admin Settings] > [Insights] > [Compliance] ページで[Run Compliance Check] をクリックする前に、CX Cloud管理者はインベントリ収集スキャンが実行されたことを確認する必要があります。

## 解消された不具合

このセクションでは、この不具合の一部として解決された問題をリストします。

### 識別子

### 見出し

[CSCwb82878](#)

以前は、プロキシが有効で、プロキシのユーザー名とパスワードが設定されていたお客様は、CX Cloud Agent v1.xをv2.0にアップグレードできませんでした。お客様は、プロキシのユーザー名とパスワードなしでアップグレードできます。

[CSCwb85890](#)

以前は、SSL代行受信が有効になっているお客様は、SSL証明書が自動的に生成できなかったため、CX Cloud Agentをv1.xからv2.0にアップグレードできませんでした。CX Cloud Agentが更新され、SSL証明書が自動的に生成されるため、お客様は早くアップグレードできます。

[CSCwc13970](#)

以前は、時刻の同期に失敗したため、CX Cloud Agentの顧客に対して誤った時刻が表示されていました。この問題は、現在のタイムスタンプが正しく表示される。

解決されています。

[CSCvw54075](#)

CX Cloud Agentが更新され、Connector MSログが拡張されてバックエンド接続データが表示されるようになりました。

[CSCwd10908](#)

以前は、CX CloudのRoute Processor Redundancy(RPR)機能を使用したお客様スキャンに失敗したため、デバイス設定を取得できませんでした。CX Cloudが更新され、ユーザはデバイススキャンに失敗することなくRPRを使用できるようになりました。

## 既知の障害

このセクションでは、このリリースの既知の不具合について説明します。

### 識別子

### 見出し

[CSCwd33792](#)

CX Cloudでシードファイルを新しいシードファイルに置き換えると、[Software Groups] ページにコントローラ以外のデバイスの重複したソフトウェアグループが表示されます。

[CSCwd33645](#)

現在のCX Cloudでは、ユースケースで**Managed By**フィルタが使用されている場合、ユースケース間を移動するときに**Software Groups**ページのフィルタがクリアされません。そのため、手動でフィルタをクリアするには、**Clear All**ボタンを使用する必要があります。

[CSCwd32617](#)

[Assets & Coverage] タイルの[Assets Support Coverage] フィールドには、ISO Success Trackに有効なCX Cloudアセットがある場合でも0%と表示されます。コントローラ以外のデバイスに対するdiagnostic *show tech*コマンドが失敗し、ムアウトエラーが発生してCX Cloud Agentがデータを収集できなくなります。この障害は、出力が大きすぎて、スキャンが完了するまでに1分以上かかる場合に発生します。

[CSCwd34738](#)

現在CX Cloudでは、[Affected Assets] ページが[Compliance] ページのロードに部分的に失敗します。読み込むと、列が並べ替えられたときに空白のページが表示されます。

[CSCwd20485](#)

[CSCwd22699](#)

現在CX Cloudでは、**Software Groups**ページの**Field Notice**および**Security Advisories**のデータが、**Assets & Coverages**ページの同じデータと矛盾しています。同じCisco DNA Centerに対して、アセットのない重複したソフトウェアグループが表示されます。

[CSCwd08303](#)

[CSCwd24011](#)

現在のCX Cloudでは、以前に未処理とマークされた非コントローラデバイスが、対象として再指定されると、関連付けられたパーシステンスフラグがデバイスに適用されなくなり、デバイスが予期したとおりに[Software Groups] ページに表示されなくなります。

[CSCwd21619](#)

現在CX Cloudでは、[Software Groups] 詳細ページの[Affected Features] と選択プロファイルの[Bug Count] が異なっています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。